



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「景観づくり」による活性化・「空家活用」による賑わいと地域間
交流づくり・「ご近所大学」による地域人財発掘の支援

田邊 寛子 (たなべ ひろこ)

まちひとつ総合計画室 代表



○ 登録者情報

所在地

東京都品川区

略歴

【略歴】

1998年度 武蔵野美術大学造形学部 建築学科卒業
2000年度 早稲田大学大学院 建築学科修士課程修了
2000-2007年度 株式会社アプル総合計画事務所 以下(※同)
2007年度- まちひとこと総合計画室設立(現在に至る)
2008- 2011年度 明治大学理工学部 建築学科兼任講師
2010年度- 東京都品川区都市計画審議委員・同区景観審議会委員
2011- 2014年度 早稲田大学建築学科非常勤講師
- 財団法人地域活性化センター 地域力創造人材
2013- 芝浦工業大学非常勤講師
2013年度: 埼玉県本庄市都市計画マスタープラン策定委員会副委員長
2007~11年度: 明治大学理工学部建築学科兼任講師
2010~16年度: 品川区都市計画審議委員
2011~15年度: 早稲田大学非常勤講師
2014年度~: 芝浦工業大学非常勤講師
2017年度~: 早稲田大学芸術学校非常勤講師

【受賞歴等】

・照明普及賞 柴又帝釈天参道ライトアップ(※同担当物件)・LANDSCAPE LIGHTING AWARDS 2008 公園・広場・緑地
照明部門地区 優秀賞受賞(※)・GOOD DESIGN 賞・都市景観賞 美しい街並み特別賞

【資格】

・一級建築士344500号

著書・論文等

2002年度寄稿：機関誌「建設業界」597号 「曾祖父田邊朔郎のこと」(土工協)
2007年度寄稿：機関誌「都市+デザイン」26号 柴又帝釈天参道 まちなみ(庇下)ボンボリ連続照明(財団法人都市づくりパブリックデザインセンター)
2010年度1月寄稿：機関誌「地域づくり」生活の営みが色濃くにじみ出た景観づくり(財団法人地域活性化センター)
2011年度寄稿：季刊まちづくり 東日本大震災 復興まちづくりシナリオの提案
2014年度寄稿：「食学入門」食べるヒト・食べるモノ・食べるコト/商店街とお惣菜屋さんの衰退(光生館)

○「景観づくり」による活性化・「空家活用」による賑わいと地域間交流づくり・「ご近所大学」による地域人財発掘の支援

取組の内容

【葛飾柴又帝釈天周辺・住民主体の景観まちづくりプロジェクト】

2004年から[しゃれた街並みづくり推進条例]の重点地区に指定された地区において「変えない開発」をコンセプトに民間主導のまちなみの景観維持活動・事業を行っている。主体である特定非営利活動法人柴又まちなみ協議会を支援し、[柴又まちなみガイドライン]の作成・ワークショップ・運営を行っている。2018年2月に国文化的景観に選定され更なる景観まちづくりを目指している。

【葛飾今昔まちあるき観光プロジェクト】

まちあるき観光による楽しみながら地域の魅力を発掘するしくみづくり。地域を読み取るポイント指南とマップづくりを行っている。

発行：葛飾区地域振興部観光課：<http://www.katsushika-kanko.com/katsumaru/>

【えらぶゆり活性化プランプロジェクト】

沖永良部島の100年前からの主要産業であるテッポウユリ(えらぶゆり)を地域資源として捉え、着地型観光を目指し、えらぶゆりに関わる住民の方とのワークショップやヒアリングを元に5か年アクションプラン「これまで百年これから百年えらぶゆり」を作成した。

花にあふれる島景観を、住民による持続可能で実効性のある計画とするために個々人の夢や課題にフォーカスしながら実施した。

【空家活用シェアスペースうなぎのねどこ】

東京北品川の築100年の空き家をDIY改築しシェアスペースとして運用、事業実施している。3年間で累計1700人が利用し、400以上のイベントが実施された。

交流人口づくり支援として新潟県佐渡ヶ島・新発田市・小千谷市、長野県辰野町・喬木村、鹿児島県徳之島・沖永良部島などとの魅力発信・移住定住推進イベントなどを行っている。

【ご近所大学ネットワーク】

ご近所大学うなぎキャンパスとして2018年1月に開校・地域の魅力的な人に活躍する機会を設け、世代を超えて自発的な学びの場づくりを実施している。全国にネットワークをしており、京都府舞鶴市・広島生口島・東京都世田谷区(経堂)・東京都北区(赤羽)・長野県辰野町・徳之島などに各キャンパスや分校がある。

各校個性が特化しており、芸術学部・まちづくり学部・理学部・観光科・家政学部食育科など様々。楽しみつつ、本気の授業を行っている。各校間で授業コンテンツの共有や物々交換便など、ヒト・モノの共有もしている。

実績

【葛飾柴又帝釈天周辺・住民主体の景観まちづくりプロジェクト】

①外部評価：これらの活動が評価され照明普及賞・グッドデザイン賞・都市景観大賞[美しいまちなみ都市景観賞特別賞]を受賞しました。

▽グッドデザイン賞2009

<http://www.g-mark.org/award/detail.html?id=35702&sheet=outline>

▽都市景観大賞[美しいまちなみ特別賞]

<http://www.udc.or.jp/activities/taisho/pdf/taisho22.pdf>

▽国の重要文化的景観選定

<http://www.city.katsushika.lg.jp/information/kouho/1005541/1017165.html>

②内部評価：住民主体の活動により、行政内で地域経済を牽引し、観光づくりを推進する地域として位置づけられました。後継者育成も行われています。

【空家活用シェアスペースうなぎのねどこ】

3年間で累計1700人が利用し、400以上のイベントが実施され、運営に関わるメンバー約20名。地域間交流などを行う中で、地域ツアーが実施され移住に繋がるなど成果が出ている。

【ご近所大学ネットワーク】

隠れたスキルを持った地域住民が教授や講師となり授業を開講。うなぎキャンパス運営1年間で、月一人の新講師が誕生している。

工夫した点や苦労した点

【モットー】

・主役はその街の方々・コミュニティ再構築の結果としての「景観づくり」をめざすこと。・まちを「消費」するのではなく、「投資」する人々を増やすこと。・「全員参加」のプロセスを大切にすること。

【プロセス】

地域が培ってきた歴史や文化、そこで生きる人々、地域の宝探し、まちなみガイドラインづくりなどをふまえて、ゆるやかに地域像を共有すること。市民事業としてのまちなみ整備を行うこと。

【秘訣】住民主体の景観づくりは自分事・他人事ではなく「自分たち事」と思う多くの仲間を増やすこと、同時に、「自分事であると」最後に責任をとり、腹をくるリーダーが不可欠です。そして、地域住民全体が、ゆるやかに地域像を共有していることがベースとなります。

ひとことPR

【子ども達が住むことを誇りに思う「まち」をつくることを目指す。】

「まちひとこと総合計画室」の名は私たちが大切にしていることを表しています。・人々が安心して生活できる「街」がそこにあること・その街で生きる「人」がそこにいること・その人々が日々の暮らしを楽しめる「出来事・仕事」があること。それがあってこそ、魅力的な「まち」ができるのだと信じています。そして、それらを総合的に計画し、実行することが「街づくり」であると考えています。



多世代の心と体の健康のための
好奇心と創造力をつく自発的な学びの場
うなぎキャンパス

2018 6 月

日	月	火	水	木	金	土	日
01	02	03	04	05	06	07	
08	09	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31	7/1	7/2	7/3	7/4	

※お問い合わせ先：ご近所大学事務局（葛飾区柴又4-1-1）
TEL: 03-6423-0413
E-MAIL: gokinso@kaiyodai.ac.jp

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

まちひとこと総合計画室	http://www.tanabe-consul.jp/machihitokoto/
空家活用シェアスペースうなぎのねどこ	https://www.facebook.com/unaginedoco/

連絡先

メールアドレス	tanabe-hiroko[アットマーク]tanabe-consul.jp	その他	
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。